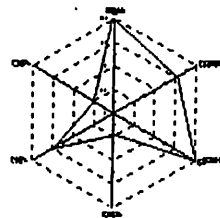


漢字力診断カード

漢字力診断カードとは

1. 漢字は形・音・意味・用法が、それぞれ交互に結びついて文字が語彙となり、言葉としての力を発揮します。

漢字の特性ごとに漢字力を測定し、レーダーチャート(グラフ)を用いて弱点を判断します。漢字が苦手という人も、漢字の特性に理解を深めることで、漢字について学習できていない側面を把握し、学習法に繋げることができます。



2. 「漢字力診断カード」は「入門編」「基礎編」「学習対応編」の3編で構成しています。

日本語基礎レベルの診断と同様、授業に参加できるかどうかの境目にある、レベル4の見極めが大切です。「入門編」は漢字の学習初期に必要な7つの観点から漢字力を確かめるようにしてあるので、低学年の子ども、日本語学習を始めて日が浅い子ども、長期間日本を離れている子どもにも役に立ちます。

「基礎編」は小学3・4年以上に対応でき、授業に無理なく参加するための、基礎になる漢字を選んでいきます。また、12の観点から漢字力を判断できるように組み立てています。漢字はちょっと苦手という人はぜひ試みましょう。

「学習対応編(算数・社会・理科)」は小学6年以上中学生が教科の学習に対処できるように作成しました。教科で頻出する漢字や使い方があるので、知っておくと役に立ちます。帰国前に教科の心配をなくすのにも役立ちます。

3. 「入門編」「基礎編」「学習対応編」の3編には、それぞれに「漢字練習カード」があり、弱点克服のための練習問題をつけてあります。「入門編」「基礎編」は問題量を多くし、漢字の特性を理解しやすくしてあります。

「学習対応編」の練習問題は、教科の漢字を楽しく再テストできるよう、問題数を絞り、テストとして利用できるようにしてあります。小学4・5年でもかなりの部分で利用できるようになっていきます。診断カードで判断がつきにくい側面の補助として使うことができます。